

高等学校学習指導要領抜粋

【芸術科 目標】

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【音楽Ⅱ 目標】

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

◆内容

A 表現
表現に関して、次の事項を指導する。

(1) 歌唱

ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌うこと。
イ 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。
ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。

エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して歌うこと。

(2) 器楽

ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメ

ージをもって演奏すること。

イ 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。
ウ 様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。

エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して演奏すること。

(3) 創作

ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって創造的に音楽をつくること。

イ 音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創造的に音楽をつくること。

ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって創造的に変奏や編曲をすること。
エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくること。

B 鑑賞

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわりを理解して鑑賞すること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して鑑賞すること。

ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。

エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。

◆内容の取扱い

(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、相互の関

連を図るものとする。また、生徒の特性、地域や学校の実態を考慮し、内容のAの(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。
(2) 内容のBの指導に当たっては、我が国や郷土の伝統音楽を含む多様な音楽文化について理解を深める観点から、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。
(3) 内容の取扱いに当たっては、「音楽Ⅰ」の3の[2]から[8]までと同様に扱うものとする。
※「音楽Ⅰ」3より

[2] 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のA、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことができる。

[3] 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。

[4] 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBの工との関連を図るよう配慮す

るものとする。
[5] 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。
[6] 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。

[7] 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。

[8] 音や音楽と生活や社会とかかわりを考えさせ、学習環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようとする。

学期	題材	目標と指導内容	教材配当例 ○歌唱教材 □器楽教材 ▼創作教材 ♪鑑賞教材 ★資料・コラム等	学習指導要領との対照												内容の取扱い	評価の観点 【関・意・態】関心・意欲・態度 【創意工夫】音楽表現の創意工夫 【技能】音楽表現の技能 【鑑賞】鑑賞の能力
				【A】表現						【B】鑑賞							
				(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作	(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作	(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作	(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作		
1学期 4～7月	青春と音楽	歌唱や創作の諸活動を通して、音楽の楽しさを味わうとともに技能を高め、個性豊かな表現を目指す。 ・曲種に応じた発声法、発語や表現方法を理解する ・ポピュラー音楽の概要を学習する ・つくった旋律に歌詞を当てはめて歌をつくる ・好きな楽曲のコード進行を抽出し、そこに新たな旋律をつくる	○歌の翼に ○And I Love Her ○365日の紙飛行機 ○唱歌の四季 ▼歌をつくらう ★ポピュラー音楽史の中のビートルズ ★楽典 ★楽曲の形式 ★主要音楽用語 ★音楽や楽譜は守られている	●	●	●										(1) (3[3]) (3[8])	【関・意・態】 ・歌唱することに喜びを感じ、正確な読譜や適切な発声に努めることに主体的に取り組んでいる。 ・歌の作曲に関し、様々な方法を理解し、意欲的に創作している。 【創意工夫】 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、表現を工夫している。 ・言葉のリズムやアクセントと旋律の動きとの調和や、コードと旋律の関係を理解し創作表現を工夫している。 【技能】 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連させた表現のための技能を身に付けている。 ・言葉と旋律やコードと旋律をかかわらせて創作する技能を身に付けている。
	日本の伝統音楽(1)	歌唱・器楽・鑑賞の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、そのよさや美しさを理解する。 ・曲種に応じた発声の特徴を生かして歌唱したり、楽器の特徴を理解して表現を工夫して演奏する ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を理解して鑑賞する ・わが国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞したり、その音楽をさらに効果を高めるような音楽をつくって表現する	○初恋 ○平城山 ○椰子の実 ○早春賦 ○斎太郎節 ○谷茶前 □中国地方の子守歌 ▼音楽材を生かしてつくらう ♪義太夫節 「平太郎住家の段」 ♪能「隅田川」 ★音楽史年表 ★日本音楽の流れ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(1) (2) (3[2]) (3[4]) (3[5]) (3[6]) (3[7])	【関・意・態】 ・曲想と歌詞の内容や文化的背景、及び民謡の発声の特徴に関心をもち、イメージをもって歌唱しようとしている。 ・楽器の音色や奏法の特徴や表現上の効果とかかわりを理解し、意欲的に演奏している。 ・民謡を素材にしたつくって表現する活動に意欲的に取り組んでいる。 【創意工夫】 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 ・音楽を形づくっている要素を理解し、それらのつくり出す雰囲気や歌詞の内容や文化的背景と関連付け、発声や楽器の特徴を生かしながら表現を工夫している。 【技能】 ・素材の要素をよく理解し、より創造的な創作のために工夫している。 【鑑賞】 ・曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を身に着け取り、我が国や郷土の音楽の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。
	人間と音楽	音楽の諸活動を通して、様々な合唱音楽を体験し、その表現方法やよさを理解する。 ・簡単な輪唱や様々な形態の合唱をしたり、合唱曲をリコーダーで演奏する ・アンサンブル曲の創作 ・西洋の合唱音楽の鑑賞	○別れの歌 ○いつか王子様が ○Land of Hope and Glory ○Ständchen ○わたりどり ○河川 □Agnus Dei マンサンブルに編曲しよう ♪交響マルケレスのミサ曲 ♪レクイエム ★輪唱・合唱の楽しみ ★西洋音楽の流れ ★作曲家年表	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(1) (3[3]) (3[6])	【関・意・態】 ・様々な形態の合唱の持つそれぞれのよさや持ち味に関心をもち、歌ったり演奏したりつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や声の音色と表現上の効果に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きを理解し、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連付けながら、表現しようとして工夫している。 【技能】 ・様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。
2学期 9～12月	器楽	器楽の諸活動を通して、楽器の表現に親しみ、技能や鑑賞の能力の伸長をはかるとともに、その特長を生かした表現のよさを味わう。 ・ギター、リコーダーの奏法の実習 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・一つの旋律をもとにしたピアノ曲の編曲 ・楽器の音色や奏法と楽曲の背景をとらえた鑑賞	○ブラジルの女 ○主よ、人の望みの喜びよ ▼アレンジで広がる音楽の世界 ♪スケルツォ第2番 ♪パルティータ第2番 ♪クラリネット協奏曲 ♪ピアノ協奏曲第2番 ♪ノヴェンバー・ステップス ★西洋音楽の流れ ★作曲家年表 ★音楽史年表 ★リコーダー運指表/ギター・コード表				●	●	●	●	●	●	●	●	(1) (3[2]) (3[3]) (3[5]) (3[6])	【関・意・態】 ・楽器の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一つの旋律をもとにした編曲に主体的に取り組んでいる。 【創意工夫】 ・楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す雰囲気や理解し、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【技能】 ・旋律を生かし、イメージをもってより創造的な編曲をするために表現を工夫している。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・イメージをもって創作するための技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、楽曲の文化的・歴史的背景への理解を深め、作曲家・演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	
	世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかかわらせて理解し、そのよさを味わう。 ・曲種に応じた発声法の工夫 ・楽曲の背景と曲想とかかわりを意識した表現の工夫 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○El Condor Pasa ○さらばジャマイカ ○おおシャンゼリゼ ○ウィーンわが夢の街 ○アリラン ♪諸民族の音楽 ★楽典 ★楽曲の形式 ★主要音楽用語 ★音楽史年表	●	●	●	●								(3[7]) (3[8])	【関・意・態】 ・地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち、意欲的に歌唱しようとしている。 ・楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・地域や民族による特徴的な音楽的要素(音階・リズム等)とそれらの動きが生み出す雰囲気を文化的背景と関連付けながら理解し、表現意図をもって歌唱する工夫をしている。 【技能】 ・曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す特質や雰囲気を理解しながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	
	劇と音楽	劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。 ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ・劇や物語と音楽とかかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○Lascia ch'io pianga ○メリー・ウィドウ・ワルツ ○Memory ○美女と野獣 ○右から2番目の星 ♪オペラ「トスカ」 ★ミュージカル ★西洋音楽の流れ ★作曲家年表 ★音楽史年表	●	●	●	●								(3[6]) (3[8])	【関・意・態】 ・劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱したり、演奏したり、鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す雰囲気や理解しながら表現意図をもって歌う工夫をしている。 【技能】 ・曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、作曲家・演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、よさや美しさを味わっている。	
3学期 1～3月	アンサンブル	声や楽器を組み合わせ演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。 ・声や楽器の音色、奏法、それらの組み合わせを生かしてつくったり演奏したりするアンサンブル活動 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○八木節パラフレーズ □Don't Mind □みんなでアンサンブルをしよう ▼アンサンブルの曲をつくらう ♪ピアノ三重奏曲「大公」 ♪交響曲第5番 ♪水上の音楽 ♪交響詩「ローマの松」 ★西洋音楽の流れ ★作曲家年表 ★音楽史年表	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	(1) (2) (3[3]) (3[4]) (3[5]) (3[8])	【関・意・態】 ・楽器の音色や奏法及び、それらの組み合わせの面白さに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す雰囲気や理解し、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【技能】 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素やその動きを生かして創作するために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と、歌詞の内容や楽曲の背景とかかわりを理解し、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。		
	独唱	歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージをもって表現したり、楽曲の価値を理解する。 ・芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ・芸術歌曲の鑑賞と批評	○Wiegenlied ○セレナード ○Core 'ngrato ○Sogno ♪歌曲集「女の愛と生涯」 ♪船たちよ、我らはおまえたちを愛したことになるだろう ★楽典 ★楽曲の形式 ★主要音楽用語 ★音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で書いてみよう	●	●	●	●							(1) (3[3]) (3[6])	【関・意・態】 ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とかかわりに関心をもち、イメージをもって歌唱したり、鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素とそれらの動きが生み出す特質や雰囲気などを理解し、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、音楽表現を工夫している。 【技能】 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって音楽表現をするために必要な発声、発語、読譜等を身に付け、創造的に表現している。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と、歌詞の内容や楽曲の背景とかかわりを理解し、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。		